

飛躍（ホップ）からステップへ

南あわじ市長 中田 勝久



市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また市政運営に対しまして昨年中に賜りました温かいご支援とご協力に厚くお礼申し上げます。

さて、平成27年は南あわじ市にとりまして市制10周年という大きな節目であります。平成17年1月11日の合併以降、防災対策や少子対策、行財政改革に一貫して取組んできました。また新庁舎、若人の広場、食の拠点施設などビッグプロジェクトの完成も間近です。今年は、今まで進めてきた施策を礎に更なる飛躍の年としなければなりません。

更なる飛躍のためのその1は防災・減災対策であります。南海トラフ巨大地震津波対策につきましては、県や国と強力な連携のもと進めてまいります。兵庫県津波防災インフラ整備5箇年計画の重点地域に挙げられております福良港湾口防波堤につきましても「同整備検討委員会」におきまして整備方針が決定いたしました。阿万港、沼島漁港などにつきましても引き続き国・県と連携して推進してまいります。

その2は少子高齢化対策であります。「地域は人から」だと私は考え

ております。そのためには、高齢者がにこやかで、子どもたちの元気な声が響くまちづくりが必要です。定住化促進・少子対策に力を入れてまいります。少子対策につきましては、合併後一貫して重要施策として推進してきましたが、新たに思い切った施策に取組んでまいります。

その3は鳴門の渦潮やあわじ島まるごと食の拠点施設、大学連携を起爆剤とした地域の活性化であります。世界遺産登録をめざす鳴門の渦潮については昨年12月に「兵庫・徳島『鳴門の渦潮』世界遺産登録推進協議会（仮称）」が発足するなど強力な連携が進んでいます。また淡路花博2015花みどりフェアに合わせた完成予定のあわじ島まるごと食の拠点施設が市内及び島内の食のブランドを更に高めていける拠点になると確信しています。特に今年3年目を迎える吉備国際大学では、地域との連携を更に進化させる取組みが進ん

でいます。これらが地域活性化推進のフロントランナーとなってくれと大きな期待を寄せているところです。その4は新庁舎開庁と市民交流センターの市内21か所での展開であります。組織の効率化を進め、市民交流センターによる地域活性化、地域コミュニティの醸成を促進するとともに、窓口サービスの補完も行いながら、市民サービスを展開してまいります。また新庁舎開庁に合わせたコミュニケーションの利便性向上を図ります。

その5は行財政改革の継続であります。持続可能な行財政基盤の構築をめざしてまいりましたが、平成25年度末市債残高が合併時450億円から360億円に減少するなど財政指標は引き続き改善しています。

古くはオリンピックで日本が3大会連続で金メダルを獲得した陸上競技の三段跳び。助走からホップ、ステップ、ジャンプと三回跳び、その距離を競う種目です。南あわじ市をその3回のジャンプに例えますとこれまでがホップ、本年は仕上げのジャンプに繋ぐステップの年に当たると考えています。

市制10周年、市にとりましてまさに一区切り、新たな気持ちで気を引き締めて南あわじの創生のため、様々な施策に取組んでまいります。本年も市民の皆様さん方のご理解・ご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

謹賀新年

平成27年



皆様の負託に応え信頼される議会をめざして

南あわじ市議会議長 廣内 孝次

新年あけましておめでとうございます。

南あわじ市議会を代表いたしまして新春のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様におかれましては、夢と希望にあふれた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。新しい年を迎え、皆様の負託に応え信頼される議会をめざし、誠心誠意努力する決意を新たにしております。

さて年末はアベノミクス、消費税などを問う衆議院の解散総選挙がありました。これからは地方経済の活性化に多くの施策が講じられると考えられます。県は人と自然の豊かな調和を目指す環境立島「公園島淡路」の実現を推進するため、3月21日から5月31日にかけて「淡路花博2015花みどり



りフェア」が約300万人の入場者を見込み開催されます。また南あわじ市においても、若人の広場の開園、食の拠点施設「美菜恋来屋」の開店などもありますので、観光客も想像以上に増加することが予想されます。少子高齢化、人口減の対策としても交流人口の増加が必要でありますので、これを契機として元気な南あわじ市を創生しなければならぬと考えます。

そして新庁舎の開庁、市民交流センターの開設、行政組織の改編

など色々と改革が進みますが、議会として、今まで以上に地域の活性化が進み市民のまとまりが促進され、合併の成果が出てくるように取り組むたいと考えます。

また近い将来高い確率で起こるといわれています南海トラフ巨大地震などへの対策が喫緊の課題であります。年末に防災対策として福良湾での防波堤の整備方針が決まりましたが完成まで時間もかかりますので、防災減災に向けて市民と行政がしっかりとネットワークを結び、大切な命を守らなくてはなりません。

私たち市議会は合併10周年の節目を迎えて、市民の皆様のご意見をくみ上げ、執行機関に対する監視と評価機能、政策形成機能を十分発揮できるよう取り組んでいきます。今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成26年 南あわじ市 10大ニュース



地域おこし協力隊任用
沼島の活性化に取り組む地域おこし協力隊員に昨年3人が任用されました。日々、沼島の活性化に創意工夫をこらし取り組んでいます。



コアラの赤ちゃん誕生
イングランドの丘で2年連続でコアラの赤ちゃんが誕生しました。4,450通の応募の中から愛称が「だいち」に決定しました。



夢プロジェクトを開催
子ども達に夢を持ってもらおうと各中学校にスポーツ選手を招き講演会を開催。夢を実現する方法を伝えてくれました。



うず潮を世界遺産へ!!
鳴門の渦潮を世界遺産に登録しようと「うず潮を世界遺産にする淡路島民の会」や「淡路島議員連盟」が発足。動きが加速しています。



西淡中サッカー部全国へ
西淡中学校サッカー部が兵庫県大会で優勝。25年ぶりに近畿大会でも優勝し、高知県で開催された全国大会に出場しました。



良太郎西瓜に認定
俳優で歌手の杉良太郎さんが提唱する昔ながらのスイカ「南あわじ良太郎西瓜」に、昨年は5つのスイカが認定されました。



三中吹奏楽部、金賞受賞
三原中学校吹奏楽部が兵庫県吹奏楽コンクールで金賞。県代表として参加した関西吹奏楽コンクールでもみごと金賞を受賞しました。



食の拠点出荷者募集
島内の農水産物等を販売する「あわじ島まるごと食の拠点施設直売所（愛称：美菜恋来屋）」3月21日のオープンに向け出荷者の募集を開始。



子ども映画祭を開催
アジア国際子ども映画祭が11月29日、日本を含めアジア16か国・地域から1300人が参加して開催されました。



衆議院議員総選挙
衆議院の解散に伴う第47回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が12月2日公示、12月14日投票の日で行われました。